コウノトリ
毎週月曜日更新
カタカタ通信
第２５４号
２０２６年１１月9日

「もふもふ、はじまりました」

肌寒くなってきて、しっかり秋を感じる毎日になってきました。場所によっては初雪も降ったようで、冬も少しずつ近づいてきていますね。

コウノトリたちも、ついに冬の風物詩“もふもふ”姿が見られる日がでてきました。第１５１号などでも触れていますが、鳥たちはくちばしを羽毛の中にしまうことで、体から熱が逃げるのを防いでいるようです。


花のもふもふ


羽もいろいろ！一番右が“綿羽”

鳥は寒くなると、羽毛をふくらませます。羽毛の間に空気をため込むことで空気の層ができ、これが断熱材のような役割をして、体の熱が外に逃げるのを防いでくれるのです。

この保温を助けているのが、ふわふわしたたくさんの“綿羽（めんう）”。英語では“down feather”。まさに“ダウン”ジャケットです。換羽も終わって、きれいな羽毛に生えかわった空と花。毎日しっかり羽繕いをして、自慢のふわふわダウンを整えています。今年の冬も、もふもふしながら乗り越えてくれることでしょう。

天空の里　鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：寺内